

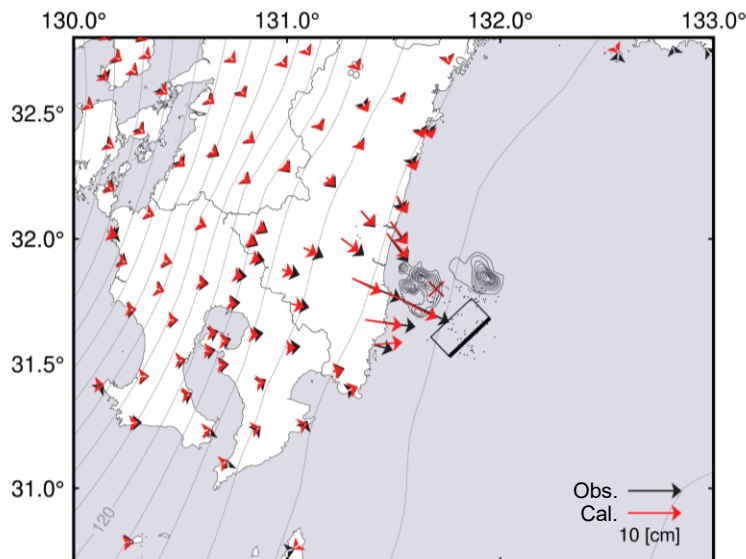
日向灘の地震（8月8日 M7.1）の断層モデル（暫定）

パラメータ拘束なし

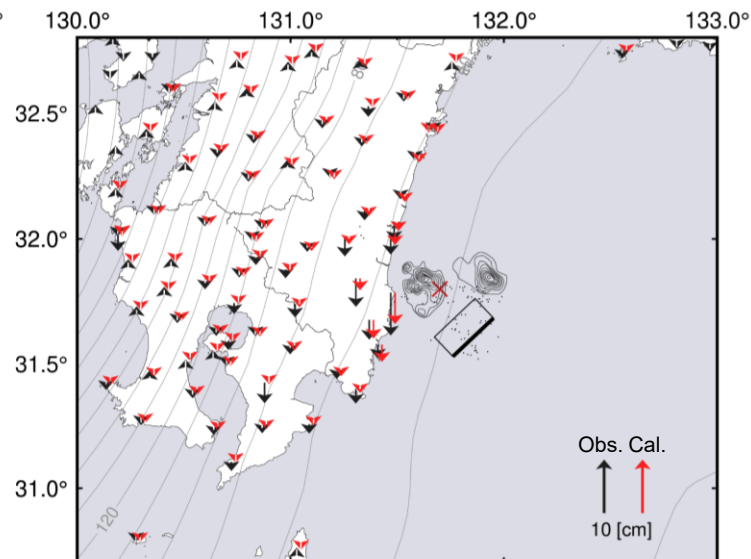
基準期間：2024年8月2日09:00 (JST) ~8月8日08:59 (JST) (R5解：速報解)

比較期間：2024年8月8日18:00 (JST) ~8月9日08:59 (JST) (Q5解：迅速解) [固定局：三隅 (950388)]

水平変動の観測値と計算値の比較



上下変動の観測値と計算値の比較



推定された震源断層パラメータ

緯度 [度]	経度 [度]	上端深さ [km]	走向 [度]	傾斜角 [度]	長さ [km]	すべり角 [度]	すべり量 [m]
31.68 (0.09)	131.95 (0.12)	19.3 (8.7)	225.2 (29.1)	16.0 (17.8)	24.9 (12.7)	99.0 (28.8)	3.3 (2.1)

Mw: 7.13 (M_0 : 6.2×10^{19} [Nm])

VR: 81.6 [%]

Mwの計算においては剛性率を60GPaを仮定した。

震源断層モデルのパラメータはマルコフ連鎖モンテカルロ法を用いて推定した。位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差 (1σ) を示す。

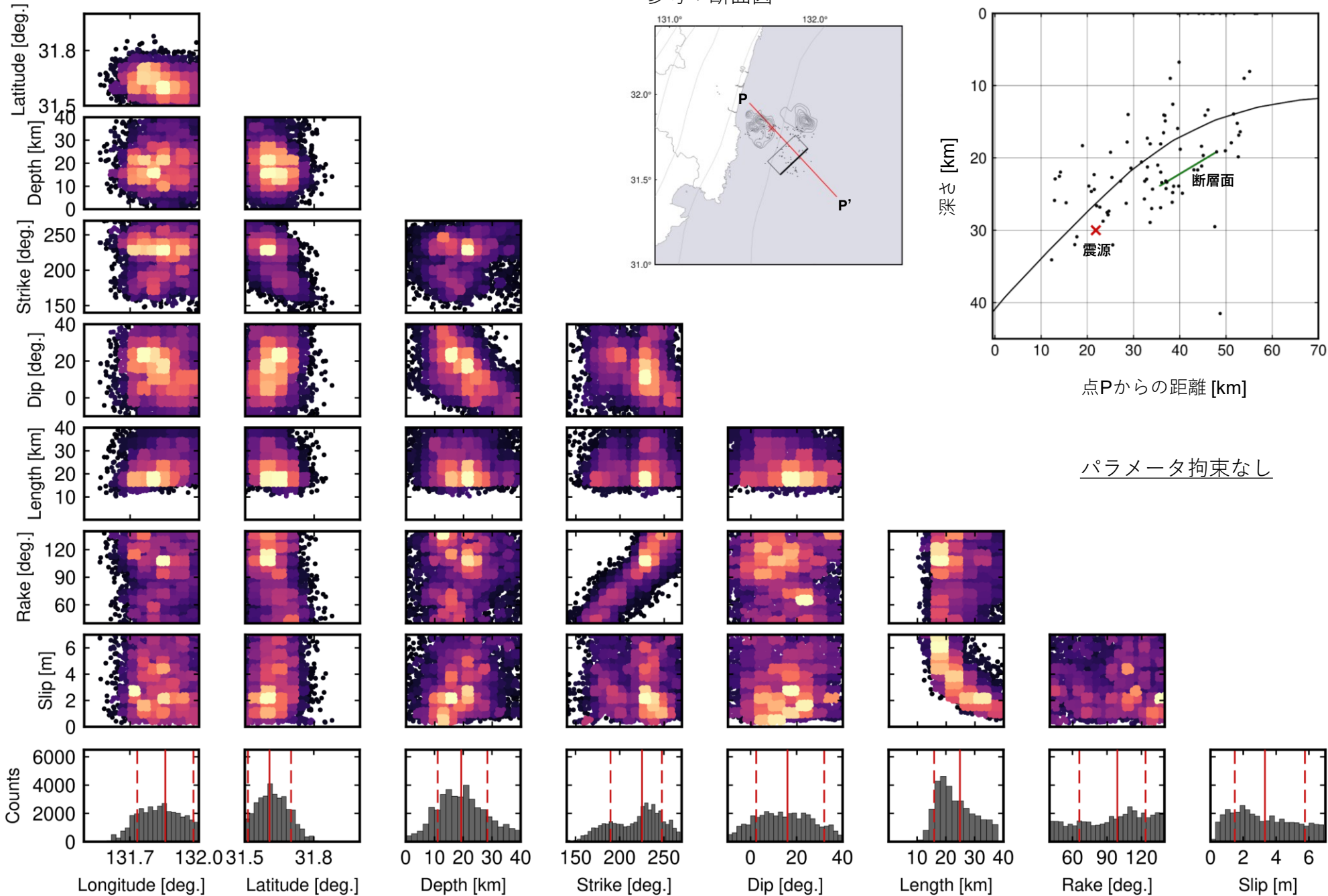
断層長さ:断層幅は3:2に近づくように拘束した。

点は震源分布 (気象庁自動決定) : 2024年8月8日16:42~8月8日20:00 (JST)

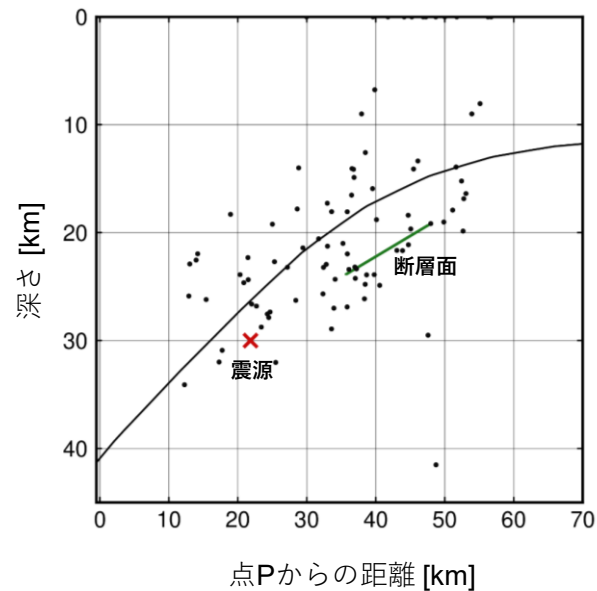
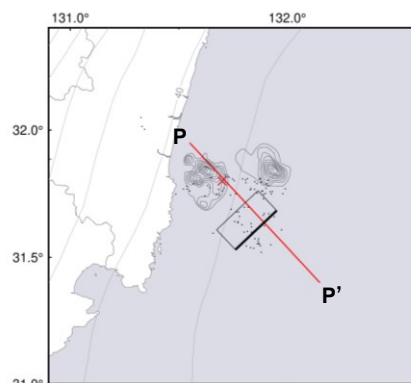
フィリピン海プレート境界面はHirose et al. (2008) を参照した。

1996年日向灘地震のすべり分布はYagi et al. (1999) を参照した。

参考：コーナープロット



参考：断面図



パラメータ拘束なし

日向灘の地震（8月8日 M7.1）の断層モデル（暫定）

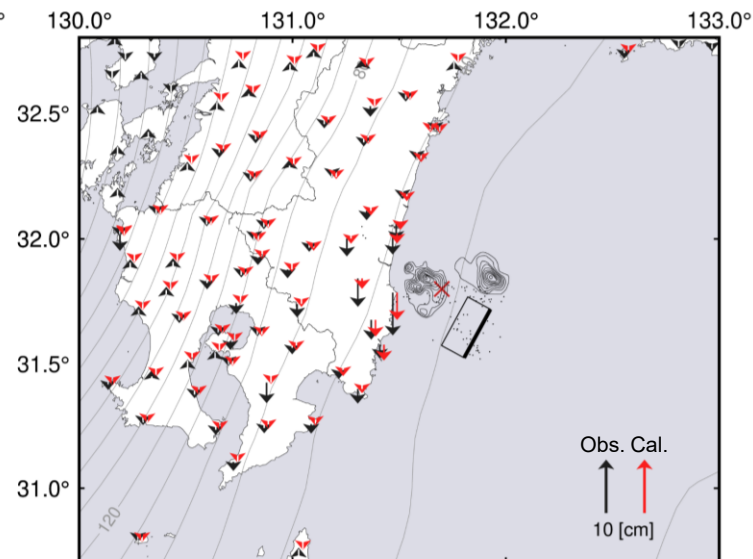
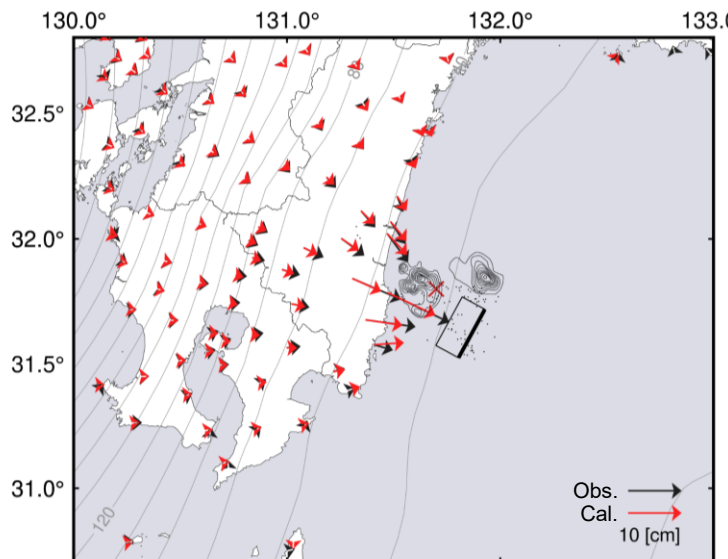
傾斜角（20度）固定

基準期間：2024年8月2日09:00 (JST) ~8月8日08:59 (JST) (R5解：速報解)

比較期間：2024年8月8日18:00 (JST) ~8月9日08:59 (JST) (Q5解：迅速解) [固定局：三隅 (950388)]

水平変動の観測値と計算値の比較

上下変動の観測値と計算値の比較



推定された震源断層パラメータ

緯度 [度]	経度 [度]	上端深さ [km]	走向 [度]	傾斜角 [度]	長さ [km]	すべり角 [度]	すべり量 [m]
31.72 (0.10)	131.92 (0.12)	18.1 (7.7)	207.1 (25.7)	20.0 (固定)	24.5 (11.0)	85.2 (27.9)	3.2 (2.2)

Mw: 7.10 (M_0 : 5.7×10^{19} [Nm])

VR: 80.2 [%]

Mwの計算においては剛性率を60GPaを仮定した。

震源断層モデルのパラメータはマルコフ連鎖モンテカルロ法を用いて推定した。位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差 (1σ) を示す。

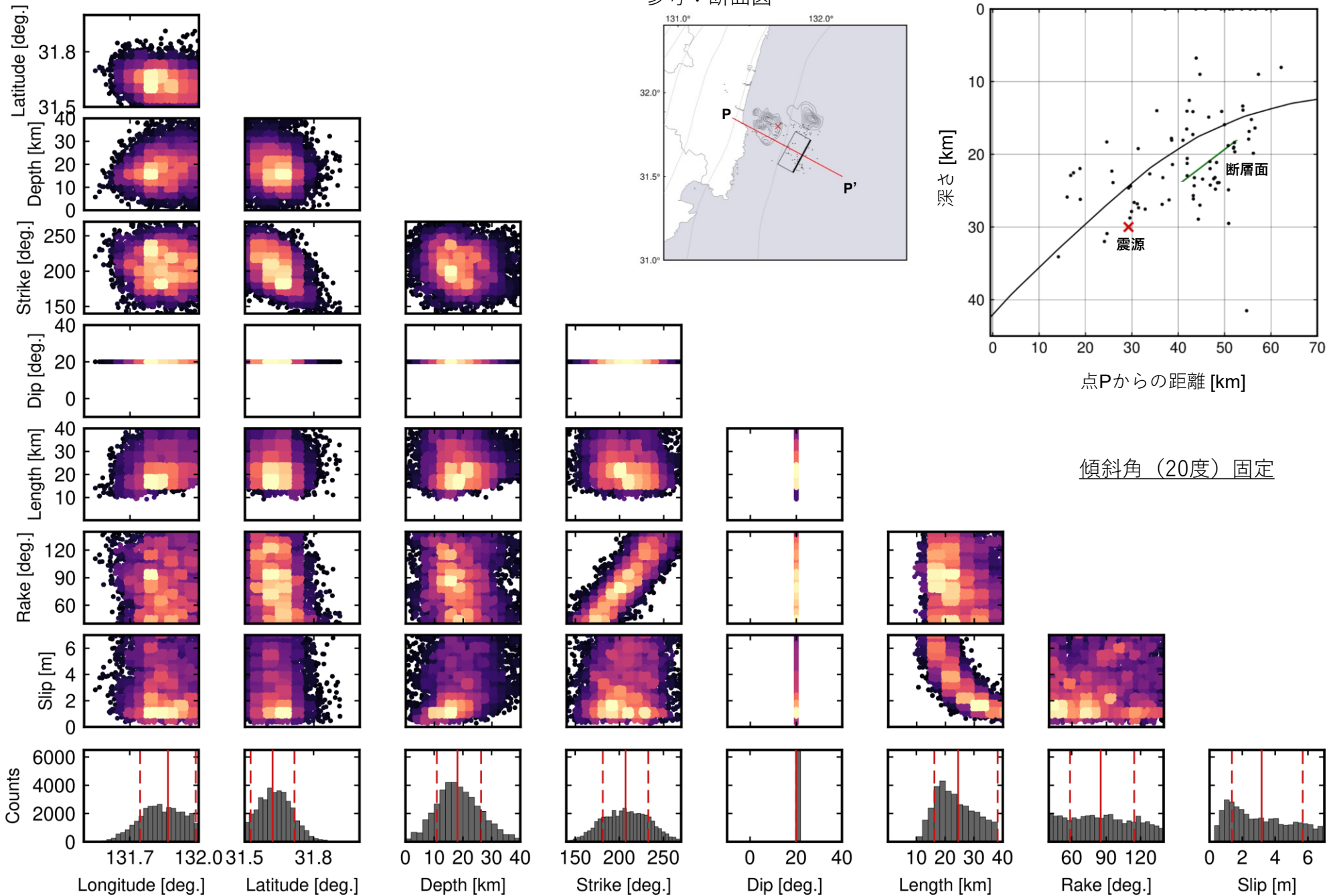
断層長さ:断層幅は3:2に近づくように拘束した。

点は震源分布 (気象庁自動決定) : 2024年8月8日16:42~8月8日20:00 (JST)

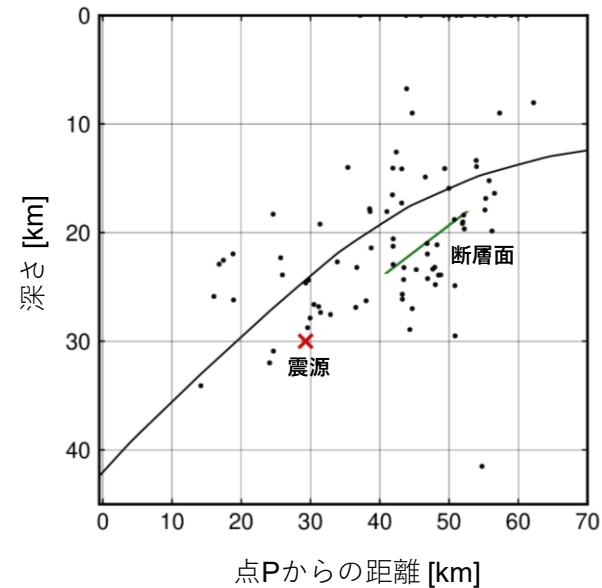
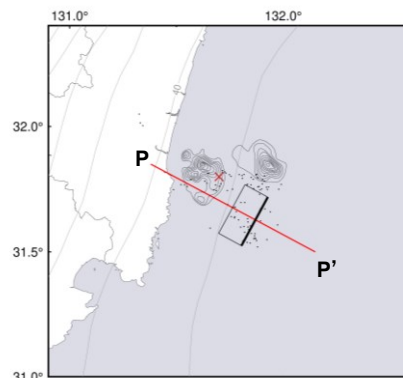
フィリピン海プレート境界面はHirose et al. (2008) を参照した。

1996年日向灘地震のすべり分布はYagi et al. (1999) を参照した。

参考：コーナープロット



参考：断面図

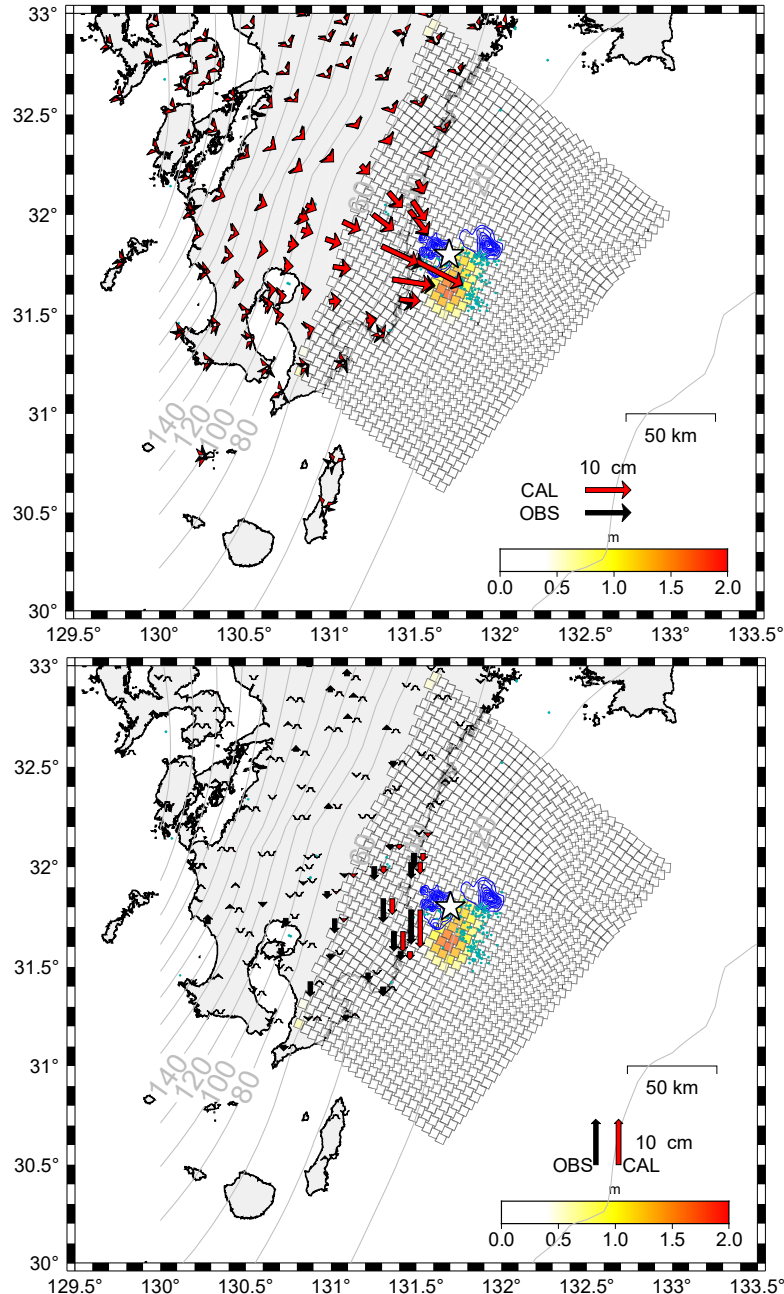


傾斜角 (20度) 固定

日向灘の地震（8月8日 M7.1）のすべり分布モデル（暫定）

2024年8月8日に発生した日向灘の地震について、電子基準点 GNSS 解析で得られた地殻変動をもとに、プレート境界面を小断層に分割したうえで地震時すべり分布を決定した。

- ・ 基準期間：2024年8月1日 09:00–2024年8月8日 14:59 JST（迅速（Q5）解）
- ・ 比較期間：2024年8月8日 18:00–2024年8月9日 08:59 JST（迅速（Q5）解）
- ・ 固定点：三隅



☆印は震央、点は震源分布（気象庁自動震源：2024年8月8日16時43分～8月8日23時59分（JST））

- ・ プレート面（Hirose et al. 2008）を5kmx5kmの小断層に分割してすべり分布を推定.
- ・ 青コンターは、1996年10月と12月に発生した地震のすべり分布（Yagi et al. 1999）
- ・ 最大すべり量は約1.7mである
- ・ M_w は7.25である。 M_w の計算においては、剛性率を60 GPaと仮定した